

## 1 はじめに

租税教育をおこなうにあたって、第 6 学年小学校社会科では、単元「私たちの生活と政治」が該当する。その指導内容は「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。」である。

このように本単元が扱う内容が広範囲に渡ることから、身近な事例を取り上げ、有効と思われる資料を活用し具体的に指導し、税金についての理解を深めていく。

## 2 実践にあたって

### 【税に関する標語制作について】

6 年生が、税金についてのパンフレット「わたしたちのくらしと税」を使用し税金について学ぶとともに、学習したことをもとに税に関する標語を作り応募した。パンフレットを活用し税のしくみや税の使いみちなどを学習することで、私たちにとって税は身近なものであることを学び、私たちの暮らしを支える大切な役割を果たしていると感じることができた。そして、それぞれの税に対する思いを標語にしてコンクールに応募するという活動に取り組んだ。

〈税に関する標語〉

○税金は みんなの生活 ささえるよ K・A

○私達の生活は 税金で成り立っているんだね K・H

### 【出前授業から】

- 1 単元名 私たちの生活と政治
- 2 小単元名 「子育て支援の願いを実現する政治—税金の働き—」
- 3 本時のねらい
  - ・市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用したり、ゲストティーチャー（登米市法人会の方）を招いたりして必要な情報を集め、税金の重要性を理解する。
- 4 本時の評価規準
  - ・どのような施設や物に税金が使われているか関心をもち、進んで調べようとしている。【関心・意欲・態度】
  - ・国民生活の安定を図るために、税金が果たしている役割について考えてみる。【思考・判断・表現】
  - ・税金に関する資料を活用して、必要な情報を集めて変化や数値を読み取っている。【技能】
  - ・税金は様々な方法で集められ、公共的な事業に使われていることを理解している。【知識・技能】
- 5 指導の着眼
  - ・既習事項の「租・庸・調」や年貢、地租改正などの内容を想起させ、税が昔から




存在したことや政治に必要なことを理解させる。


- ・さまざまな公共施設の予算はどこから出るか考えさせ、税金の働きを理解する手がかりとする。
- ・ゲストティーチャーを招き、税の必要性について理解できるようにする。

### 3 授業実践

題 材：「税金の働きを調べる」

ねらい：公共施設の建設費用と税金の関係や、税金の働きについて調べ、まとめることができる。

	学 習 の 様 子	支 援 ・ 留 意 点
つかかむ (5)	<p>1 本時の学習内容をつかむ。</p> <p>○身近な施設・設備で税金が使われているか、いないか考えさせる。</p> <p>・一人ずつ施設・整備のカードを黒板に貼り自分の考えを示す。</p> <p>・税金が使われているか確認する。</p> <p>「公的な施設・設備」 「民間の施設・設備」</p> 	<p>○税金に対して興味関心を高めさせるために、登米市の施設や建物を写真で示し公共の施設を確認する。</p> <p>・病院 ・消防車 ・公民館 ・学校 ・公園 ・図書館 ・橋 ・市民プール・信号機 ・パトカー ・ファミレス ・電気店 ・工場 ・ショッピングセンター ・スーパー ・ファーストフード店 等</p>
調べる (30)	<p>2 自分たちの身近な学校でどのように税金が使われているかを考える。</p> <p>・教科書・学校施設・机等</p> <p>○もし学校に通うのに料金を払わなければいけないとしたらどのぐらいの月謝がかかるのか考える。</p> <p>3 町の様子に目を向けさせ、税金の使われ方と必要性を考える。</p> <p>○DVDを視聴する。</p> <p>・税金のない世界ではどんなことが困るのかを視聴を通して考える。</p>  <p>4 どのようにして税金が集められ、使われ方が決められていくのかを考える。</p> 	<p>○税金を身近に感じさせるために、学校の中の物や生活を振り返らせ、具体的に税金の使われ方を理解させる。</p> <p>・塾や習い事などの月謝から想像して発表させる。</p> <p>○税金の必要性に気付かせるために、「もしも、〇〇がなかったら」と、実際の生活に基づいて考えさせる。</p> <p>・道路や信号機、歩道橋、標識 ・色々な公共の建物（警察署、消防署、市役所、公民館） ・パトカー、消防自動車、救急車、ごみ収集車 ・警察官、消防士などの役割</p> <p>○すべての国民が健康で豊かな生活を送ることができるようにするためにみんなが出し合うお金（会費）であることを理解させる。</p> <p>・物を買ったとき（消費税） ・会社に勤めている人（所得税） ・自分で商売をしている人（所得税） ・その町に住んでいる人（住民税）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこや酒、ガソリンを買ったとき（たばこ税、酒税、石油ガス税）</li> <li>・議員の話し合いによって使い方が決められる。</li> </ul>
まとめ る (10)	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○実際に1億円の重さを体感する。</p>	<p>○学習内容を深めるために、資料を活用し、重要事項を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金の使い道・税金の仕組み</li> <li>・税金の使い方・国民の義務</li> </ul> <p>○1億円が実際にどのぐらいのものなのか実感をもたせるためにレプリカを使い一人ずつ体験をする。</p>

#### 4 租税教室や税金に関する授業の感想

私は、税金の勉強をして改めて税金の大切さを感じることができました。DVDを観て税金は、信号機やごみの収集など色々なところで使われていることを知って、税金がないと大変だということが分かりました。
税金のことは余り知りませんでしたが、この時間で、身の回りでも税金が使われていることがたくさんあることを知りました。税金がこの国にとって大切なものであることがよくわかりました。
税金は、みんなの安全・安心を守るため必要だと思いました。この授業で、改めて税金は必要なんだなあと思いました。
私は、最初、税金なんて無ければいいのと思っていた。でも、話を聞いて税金がなくなったら大変なことになることに気付きました。これからは、お金を払うときに、税金のことを思い出してみたいと思います。
税金の仕組みがよく分かりました。私は、税金って本当に必要なのかなあと思っていました。でも、DVDや話を聞いて税金がなくなったら大変だなあと思いました。1億円もとっても重かったです。この貴重な体験は忘れません。
税金の勉強をして分かったことは、税金がないと平和な暮らしができないということが分かりました。税金は大切だと思いました。すごくいい勉強になりました。
税金には、いろいろな種類があることが分かりました。そして、税金の大切さも分かりました。これからも税金のことについて勉強していきたいです。

#### 5 指導を終えて

- ・登米法人会の方々の協力をいただき、租税教室を実施することができ、専門的な知識と情報で児童の税に対する興味・関心は大いに高まり、理解を深めることができた。
- ・税金の必要性を考えさせる DVD の内容は6年生に分かりやすく、税金の必要性を考える上で効果的だった。
- ・税金に関する今回の取組は、税金の必要性を理解するとともに社会参画の意識を育てる上でも有効であった。

